

2021年8月19日

日立建機株式会社

今後の北中南米事業戦略について

1988年以來の提携関係を解消し、米大陸全域で独自の販売・サービス網を再構築

日立建機株式会社(本社:東京都台東区、執行役社長:平野 耕太郎/以下、日立建機)は、米・ディア&カンパニー社(Deere & Company、本社:アメリカ合衆国・イリノイ州モリーン、会長兼 CEO:John C. May(ジョン・C・メイ)、以下、ディア社)との間で1988年以來続けてきた北中南米事業の合弁事業に関する業務提携を解消することで合意しました。

今回の合意によって、日立建機は、2022年3月以降、高性能・高品質でグローバルに認められているコンパクト・コンストラクションの油圧ショベル、超大型のマイニング機械、さらにホイールローダまで、日立建機グループとして、最新の製品・技術・サービスを北中南米市場全域で、独自の代理店ネットワークを通じてお客さまに直接提供していくことが可能となります。

今後は、日立ブランドのホイールローダを製造・販売する日立建機ローダーズアメリカ社(Hitachi Construction Machinery Loaders America, Inc.、本社:アメリカ合衆国・ジョージア州、取締役会長:廣瀬雅章)を軸に、域内のグループ会社と、新たな事業構造を構築します。

既存の日立ブランドで展開する油圧ショベル・ダンプトラック・ホイールローダの代理店ネットワークなどを活用・強化しつつ、マーケティングからサービスまで北中南米市場全域で最適なネットワークを構築してまいります。

なお、当社とディア社は新たに供給契約を締結し、ディア社向け同社ブランドのミニショベルおよび油圧ショベルの現行ラインアップの完成車のOEM供給や、アメリカとブラジルのディア社の油圧ショベル製造・販売拠点へのコンポーネント供給およびサービス部品供給を、当面の間継続いたします。

また、提携解消後の最優先事項として、これまで合弁事業を通じて製造・販売した製品を保有するお客さまに対して、継続性をもってサービスを提供いたします。

日立建機とディア社は1988年にアメリカ・ノースカロライナ州での製造・販売の合弁会社ディア日立社(Deere-Hitachi Construction Machinery Corporation)を設立して以来、北中南米全域で重要なパートナー関係を築いてきました。

日立建機が世界トップクラスの技術を誇る油圧ショベル技術を供与することで現地生産を本格的に進め、マーケティングは農機で現地に強固な地盤を持つディア社が担当することによって、北中南米の米大陸全域で連携して事業を展開してきました。

一方、近年、土木建設やマイニングのお客さまの間で、世界的なSDGsなどの機運の高まりとともに、建設機械メーカーに対してますます「安全性向上」「生産性向上」「ライフサイクルコスト低減」という基本的な3つの要求が強くなっています。

日立建機では、これらの課題にお応えするために、2017 年度を初年度とする前中期経営計画からグループを挙げ、新車販売以外の事業(バリューチェーン事業:部品サービス、レンタル、中古車、再生部品、ファイナンスなど)の拡大と深化に本格的に取り組んでいます。2022 年 3 月以降、コンパクト・コンストラクションホイールローダだけでなく、コンパクト・コンストラクションの油圧ショベルと超大型油圧ショベル、ダンプトラックでも、北中南米全域のお客さまの課題に、最先端のソリューションをダイレクトに提供できるようになります。

今後、日立建機グループとして、北中南米市場に対して具体的に以下の通り取り組んでまいります。

1. 地域統括会社を強化し、北中南米全体の市場戦略を立案、代理店ネットワークを強化

今回の提携解消によって、これまでは日立ブランドのホイールローダの製造・販売を担当してきた日立建機ローダーズアメリカ社の組織を大幅に見直して、ホイールローダ、コンパクト・コンストラクションの油圧ショベル、超大型油圧ショベル、ダンプトラックの全てを扱う地域統括会社としてさらに強化します。

日本で製造した機械を地域統括会社で調達し、日立ブランドで販売し、サービスをするための全米販売ネットワークの構築に取り組みます。現在、日立建機ローダーズアメリカ社では、北米にホイールローダの代理店ネットワークを築いており、コンパクト・コンストラクションの油圧ショベルについても、まず最新の高効率な油圧システムや作業現場の安全性を向上させる Aerial Angle[®]、さらに世界中で高い評価をいただいているサービスソリューション ConSite[®] OIL を標準搭載するなど、高度な作業性・安全性・サービスが求められる北米の市場ニーズにお応えする最新機種を投入し、域内のマーケティング体制を再構築し、強化します。

また、マイニング事業については、日立建機グループのマイニング関連各社と連携して、北米をはじめ、中南米市場でも独自のネットワークの開拓に取り組みます。

2. 北中南米全域でマイニング事業を強化

マイニング事業は、今回の合意で、今後は、北米をはじめ中南米市場でも既存代理店*1と協力してネットワークの強化・拡大に取り組み、米大陸全域の採掘業に携わるお客さまに対して主体的な事業展開が可能となります。

具体的には先般締結した ABB グループとのマイニングのネット・ゼロ・エミッションへの取り組みをはじめ、世界市場で豊富な納入実績を持つトローラダンプトラック、鉱山の自動運転に向けた鉱山用のダンプトラック自律走行システム(Autonomous Haulage System:AHS)および超大型油圧ショベルの自律運転技術なども含めて、日立建機グループの動向は世界の鉱山市場のお客さまから大いに注目されています。

鉱山市場のお客さまにとって、CO₂削減だけでなく、高度化し、複雑化する鉱山全体の経営の効率化も、大きな課題となっています。このため日立建機では、鉱山全体のオペレーションを支援する「ConSite[®] Mine」の提供を開始する予定です。また複雑化するダンプトラックの運行管理で、世界有数のエンジニアリング会社であるカナダの子会社 Wenco International Mining Systems Ltd.(本社:カナダブリティッシュコロンビア州 リッチモンド、社長兼 CEO: Andrew Pyne(アンドリュー・パイン)/ウエンコ社)と連携して、新しいサービスの拡大も進めます。

さらに、鉱山機械向け部品を製造する BRADKEN PTY LTD(本社:オーストラリア連邦・ニューサウスウェールズ州、CEO:Sean Winstone(ショーン・ウinston)/ブラッドケン社)や、鉱山の採掘・砕石・建設機械および設備向けサービス事業や鉱山設備の部品開発・加工・販売を担当する H-E Parts

International LLC(本社:アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ、CEO:Simon Pelletier(サイモン・ペルティエ) /H-E パーツ社)は米州市場全域に実績があり、これらのグループ会社と連携し、ABBグループと協業しつつ市場の開拓・深耕に取り組みます。

3. 最先端のIoTを活用した高度な部品サービス事業への本格参入

日立建機は 2000 年より油圧ショベルにオプションで通信端末の搭載を始め、2006 年からは全機種で標準搭載を始めるなど、IoT を活用し、建設機械の稼働・位置情報などのビッグデータを Global e-Service®(グローバル イーサービス)に蓄積・分析を続けています。

2013 年より、Global e-Service®に蓄積してきたデータに基づいて、遠隔監視で故障リスクを把握し、建設機械の状態に応じ、データレポートを配信するサービスソリューション「ConSite®」を提供し、お客さまの課題の中でもとりわけライフサイクルコストの低減に貢献してきました。

現在、ConSite®のデータレポートサービスの契約台数は 113 カ国・地域で 15.8 万台*2 に達しており、全体の販売台数に占める契約率は約 75%*3と、お客さまから短期間で高い支持を得てきました。また、AIや分析・解析技術を積極的に取り入れることにより、センシングによる遠隔での故障予兆検知率を 75%*4 まで高めており、今後、の目標として、故障予兆検知率を約 90%に高めることをめざしています。

すでに、日立ブランドで展開中のホイールローダの ConSite®契約率は 85%*5 と、北米市場から高い評価を頂いており、今後、新油圧システムや、現場の安全性を向上させる Aerial Angle®、さらに、この ConSite®、ConSite® OIL を搭載した最新の油圧ショベルを北米市場に投入し、お客さまの期待に応えてまいります。

この ConSite®は日立グループが重点的に取り組んでいる Lumada®事業ではユースケースとして位置付けられています。これらの日立建機の最先端のサービスについても、北中南米全域のお客さまに提供が可能になり、お客さまの課題の解決に貢献してまいります。

4. レンタル・中古車事業の拡大

日立建機は 2018 年に米国のレンタル機器会社の ACME Lift Company (本社:アメリカ合衆国・アリゾナ州、Chairman and Chief Executive Officer: Woodrow D. Weld(ウッドロウ D. ウェルド) /以下 ACME 社(アクミ社))に資本参加して、米国でのレンタル事業に参入し、順調に業績を拡大してまいりました。

資本参加後、ACME 社では既存の製品構成に加えて、土木レンタル向けにも日立ブランドの油圧ショベル、ホイールローダの卸レンタル事業に参入しました。

今後は、ACME 社による広域レンタル事業者向け取引拡大に加えて、日立建機の代理店ネットワークを通じて独自のレンタル事業を拡大していきます。また同時に、日本をはじめ欧州や中国、東南アジア、オセアニアでも日立建機として実績のあるメーカー保証中古車事業についても、最先端の北米市場を中心に拡大を検討していきます。

5. OEM 供給の継続

今回、ディア社との OEM 供給契約を、当面継続することで合意しました。OEM 供給の継続によって、両社ともにスムーズな事業移管が実現できる見込みです。

これらによって、注力してきたマイニング、コンストラクション、コンパクトの主要事業分野で、他社を凌駕するグローバルトップの技術・サービスを、常に直接お客さまに提供する企業グループへと事業構造の転換を図ります。

日立建機グループは、これまでも身近で頼りになるパートナーとして、お客さまの課題を解決するソリューション「Reliable solutions」を提供してきました。今後も「豊かな大地、豊かな街を未来へ」をグループのミッションとして、全世界の発展のために貢献し、サステナブルな社会へ向けた課題解決に取り組んでまいります。

*1:現在ディア社の代理店で日立ブランドの機械を取り扱っている代理店

*2、*3:2021年3月末時点。

*4:2020年度実績。

*5:2021年3月末時点。

■商標注記

- ・ Global e-Service、ConSite および Aerial Angle は、日立建機株式会社の登録商標です。
- ・ Lumada は、株式会社日立製作所の登録商標です。

■お問い合わせ先

日立建機株式会社 ブランド・コミュニケーション本部 広報・IR 部 広報グループ

〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号

電話:03-5826-8152

以 上

ニュースリリース記載の内容は、発表日現在の情報であり、その後予告なしに変更される場合もありますので、ご了承ください。